

MRC矯正の流れ

本人のやる気・頑張り・家族の協力次第で
治療の進み具合に大きく影響が出ます！！
頑張る子は装置の個数が減り、費用も安くなります



マイオチュウ

2歳から使用可能 特別支援要する子どもにも可能

Jシリーズ

6歳臼歯がまだ生えていない、萌出途中の子
小さく柔らかいので使いやすい

1|1・6歳臼歯の萌出

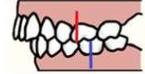
6歳臼歯までカバーできるタイプにサイズUP☆

kシリーズ

K0 柔らかくて使いやすい
K1 K0より硬く広がりやすい
K2 強化樹脂フレーム入りでさらに硬い
Kハード やぶれやすい子におすすめ
硬いので少しはめにくい

Ⅱ級

上顎前突(出っ歯)

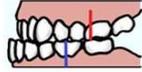


下顎を前方に
発育させる効果がある



Ⅲ級

下顎前突(受け口)



下唇に力が入りにくい
舌の力が強い
下顎の過成長抑制

l₃・P₃シリーズ

l₃ 使いやすい
P₃ 効果はより強いがはめにくい ソフト・ハードタイプがある

ワイヤーによる拡大

QH 急速拡大装置(太いワイヤー)
BWS MRCと併用(細いワイヤー)
QH+BWS QHで大きく広げた後BWSで保定

- ・10歳のタイムリミットまでに早く拡大する必要がある
- ・装置が効果的に広がらない
- ・舌が思うように上がらない
- ・部分的に反対咬合・個歯の移動

〈歯の大きさ〉

MB1・2

MB3・4

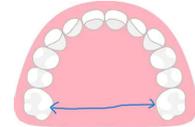
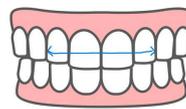
MB5・6・7

〈口の中の広さ〉

38ミリ以下でも形になりやすい

38ミリ~40ミリが理想

38ミリ以上が理想



12歳臼歯が萌出

12歳臼歯までカバーできるタイプにサイズUP☆



Tシリーズ

T₁ 習癖改善
T₂ 歯列の拡大

T₃ 歯の配列
T₄ 保定

※本人や家族の協力が得られず、装置の装着時間が不足した結果、顎が発育せずスペースが足りない場合は抜歯によるブラケット矯正治療が必要になる場合があります

※成長過程での姿勢や舌の位置・使い方のなどの影響によっては装置を追加・変更する場合があります